

令和元年度 小笠原村立小笠原小学校

学校だより

1月号 (R2. 1. 8)

TEL 04998-2-2012

校長 横山 優美

2020年 ～自分の志をもつことは自分の生き方の羅針盤～

校長 横山 優美

令和2年(2020年)が幕を開けました。皆様には希望に満ちた新年をお迎えのことと存じます。令和の元号の下で迎える初の新年、東京2020オリンピック・パラリンピックイヤー、小学校の学習指導要領の全面実施等、新たな時代の始まりともいえるでしょう。私たち教職員一同は、子供たち一人一人が、希望や目標を高くもって新たな年に向かうよう導き、支援してまいります。本年も本校の教育活動へ、変わらぬご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

1月2日、父島で成人式が行われました。平成23年度の小学校卒業生です。式典の新成人からの言葉では「今の自分」「これからのこと」「家族への思い」「感謝の気持ち」など一人一人がしっかりと自分の言葉で語っていました。今年の新成人は小学校1年生と3年生のときに担任した子たちです。20歳になった今でもまっすぐな温かい心と太陽のように輝く笑顔は変わっていませんでした。幼い頃の面影を残しながらも、きりっと引き締まった顔つきには、親から独り立ちした苦労や社会の厳しさを経験しているのだろうなということが感じられました。いろいろなことに迷いながらも「志」をもち、自分の道をしっかりと歩いていこうとしている新成人たちが頼もしく思えました。

江戸時代末期の長州藩、吉田松陰は「志定まれば、気盛んなり」という言葉を残しました。目標がはっきりと定まり決心がつけば、気力が自然に満ちあふれてくるということです。さらに吉田松陰は、目標を決めるだけでは十分ではない。なぜ、その目標を定めるのか、その目標を達成する意味は何か、と目標への意味を自分で明らかにしたりその価値を自分でしっかりと考えたりすることが大切と教えていたようです。そうすることで自分という人間の立ち位置(生き方)が定まるというわけです。

年が改まって気持ちも新鮮なこの時期に、自分が今年挑戦してみたいことや続けて頑張ってみたいことなど、しっかりと目標を立ててほしいです。自分で「志」を決め、実行してほしいのです。3月の卒業式・終了式まであと50日ほどです。1年のまとめをしっかりとし、来るべき次年度の備えをするときです。身近な小さなことでも良いので、自分の目標や課題をしっかりともち、夢に向かってこつこつと努力を続けてほしいと思います。努力を続けることが大切なのです。しかし、なかなか努力しても目に見えるような成果として表れないときもあるでしょう。いやになってやめてしまおうと思うときがあるかもしれません。子供たちに課題はそう簡単には実現しないことが当たり前だということを実感させることも大切なことです。焦らず、あきらめずにこつこつと続ける大切さを小学生の時に実感して欲しいと願っています。そして、その応援団としてご家族や学校・地域が後押しを続けるのだと考えます。

行事予定

1	水	元旦	17	金	3年クラブ見学、ヨーグルト SC
2	木		18	土	道徳授業地区公開講座
3	金		19	日	
4	土		20	月	振替休業日(1/18分)
5	日		21	火	全校朝会
6	月		22	水	音楽集会、ワク・芝、ヨーグルト
7	火	冬季休業日(終)	23	木	ロードレース練習
8	水	始業式 4時間授業	24	金	図書ボランティア、小中高百人一首大会 ロードレース前内科健診、クラブ SC
9	木	お弁当(始)、安全指導、ハンカチチェック 避難訓練、ロードレース練習	25	土	
10	金	書き初め大会、委員会	26	日	ロードレース大会
11	土		27	月	全校朝会
12	日		28	火	
13	月	成人の日	29	水	ゲーム集会、補食:スラムパニーニ(高)
14	火	発育測定	30	木	ヨーグルト飲料
15	水	運動集会、書き初め展示(始)、補食:スラムパニーニ(低)	31	金	図書ボランティア、委員会 SC
16	木	ロードレース練習			

SC・・・スクールカウンセラー来校日

<安全目標>

けがや事故に気を付けて運動しよう。

ロードレース大会が近付いてきました。学校の外でも子供たちが練習する姿がたくさん見られるようになりました。

走る際は、車や自転車との接触に十分気を付けましょう。日が落ちるのも早く、夜はとても暗いです。白色の服を着る、ライトや光が反射するものを身に付ける等対策を取りましょう。

また、自転車のライトの点灯もお願いします。



<生活目標>

自分の目標に向かって頑張ろう。

令和2年が始まりました。夏には東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。オリンピック・パラリンピック選手は、メダルという目標に向かって頑張っています。

子供たちも「今年の自分の目標」や「今年をどんなふうに過ごしたいか」等、目標をもって生活することで、一年間をより有意義に過ごすことができると思います。

ぜひ一年間の目標を考えてみましょう。



マイマイ授業(1年)

担当 山崎 友紀乃

11月の終わり頃から12月の中旬にかけて、生活科の学習で「マイマイ授業」を行いました。マイマイはどのような食べ物が好きなのか、どんな場所に生息しているのか学んだ後、学校裏のビオトープ付近でマイマイを探し、約2週間飼育をしました。また、小笠原世界自然遺産センターに行き、教室で飼育しているマイマイや小笠原固有のマイマイの生態について、たくさんの方を教えていただきました。

学習が始まる前のアンケートでは、「ちょっとマイマイ苦手なんだ。」という意見も多くありましたが、毎日お世話をし、触れ合い、じっくり観察することで「マイマイってかわいい。」「ずっと、飼っていたいな。」と、生き物に対する愛情が深まりました。

清瀬川観察(2年)

担当 土橋 紀子

5月から12月にかけて、子供たちの身近で大好きな清瀬川の生き物観察を行いました。1回目は、小笠原諸島の父島にのみ生息している固有種のオガサワラベニシオマネキを川の上から探しました。2回目は、川の上流から下流までを5つのグループに分けて、それぞれの場所でどんな生き物がいるのかを探しました。岩を動かしたり、網ですくったりと夢中で川の生き物を探し、小笠原自然文化研究所の方に生き物の名前や特徴を教えてもらいました。そして、調べてきたことを各班でまとめ、1年生に発表しました。身近な清瀬川の生き物をたくさん知り、触れ、生命の尊さと自分たちが守っていくことの大切さを学ぶことができました。



おがさわら丸・漁協見学(3年)

担当 武村 健司

12月に社会科見学に行ってきました。漁協の見学では、漁師の仕事や船、漁協の施設について学びました。おがさわら丸の見学では、機関室や船長室の説明を聞き、ロープワークとベッドメイク体験を行い、船で働く人々の仕事や工夫を学びました。ご協力いただいた皆様ありがとうございました。



クリーンセンター見学(4年)

担当 松丸弘樹・前田圭祐

先日の浄水場見学に続き、社会科の学習でクリーンセンターを見学させていただきました。実際にごみが集まってくるところやごみを焼却するところを見ることができ、私たちが生活していく上で、出てしまうごみがどのように処理されているのかを知ることができました。

また、焼却灰を埋め立てる場所も見せていただき、20～30年後には灰を埋める場所がなくなってしまうというお話も伺い、リサイクルへの意識が高まりました。



就学時健診(5年)

担当 小川 陽介

入学を楽しみにしている子供たちの案内、お世話を頑張りました。これから小笠原小学校をリードしていくぞという気持ちが表れていて頼もしく思いました。満面の笑顔で接したり、トイレに行きたいか尋ねたりしました。

ひざをついて目線を合わせたり、本を読み聞かせしたりと自分たちなりに工夫できたことに感心しました。

5年生は、最高学年に向けて大きな一歩を踏み出しました。小さな子供たちは来年の入学に向けて、期待が大きく膨らんだ一日でした。

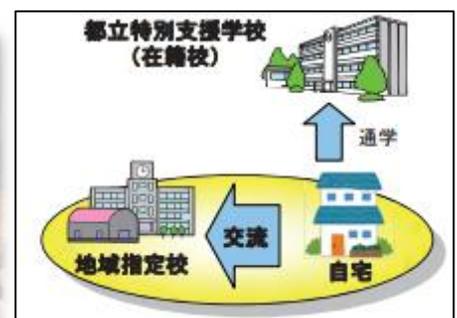
副籍制度について

担当 阿部 大樹

12月の全校朝会で、1年生の時本校に在籍し、現在は内地の特別支援学校に通っている児童の紹介をしました。本児童は「副籍制度」を活用し、継続的に交流を行っています。

「副籍制度」とは、都立特別支援学校の小・中学部に在籍する児童・生徒が、居住する地域の小・中学校に副次的な籍をもち、直接的な交流や間接的な交流(毎月のお便りなど)を通じて、居住する地域とのつながりの維持・継続を図る制度のことを言います。今は教育的ニーズに応じた指導・支援を内地の特別支援学校で受けていますが、今後は居住する地域で暮らすことも考えられます。

また、「副籍制度」は、本校児童にとっても一人一人の「心」を育てる教育の場であり、それは単に障害理解だけでなく、「社会には様々な立場や考えの違う人がいて当たり前である」という人間同士の相互理解(人権教育)や、思いやりの気持ちを大切にする人格の形成にもつながるものと考えています。引き続き、共生社会の実現に向けて、子供一人一人の「心が育つ」交流、無理なく「続けることができる」交流、お互いの「顔が見える」交流、将来への「希望がもてる」交流ができるよう交流活動を充実させていきたいと考えています。



東京都教育委員会 HP

「児童・生徒のインターネット利用状況調査」結果

担当 生活指導部

東京都ではインターネットの利用に係る現状を明らかにし、情報教育に関する施策を推進する上での基礎資料とするために調査を実施しました。本校の結果を紹介します。

(人)

インターネット利用しているか	はい		いいえ	
	115		50	
利用機器は何か（複数回答）	タブレット	ゲーム機	パソコン	スマホ
	72	65	50	48
利用アプリは何か（複数回答）	YouTube	LINE	TikTok	Twitter
	99	42	29	7
利用時間はどれくらいか	1時間程度	2時間程度	3時間程度	4時間以上
	49	44	6	16
何時まで利用しているか	午後9時頃まで	午後8時頃まで	午後7時頃まで	午後10時過ぎ
	46	29	22	18
知らない人とやりとりをしたことはあるか（複数回答）	「いいね」ボタンを押したことがある	ダイレクトメッセージ等やりとりした	感想・コメントを書き込んだ	直接会った
	39	21	15	0
生活や健康への変化はあるか（複数回答）	寝不足	放課後の活動に参加しなくなった	手伝い時間の減少	目が悪くなった
	21	18	8	8
家族とルールを決めているか	はい	いいえ		
	89	76		
どんなルールか（複数回答）	時間	ルールを守れなかったときの決まり	有害サイトを利用しない	ブログやプロフィールを作らない
	68	22	19	16
決めたルールを守っているか	はい	守れなかったことがある	守っていない	
	67	98	0	
トラブルや嫌な思いはしたか（複数回答）	悪口をいわれた		グループの仲間外れや勝手な退会	
	3		1	
トラブルを受けてどうしたか（複数回答）	がまんした			
	4			
ルールやマナーはどこで教えてもらったか（複数回答）	家庭	学校	新聞やテレビで知った	友達から教わった
	125	105	19	17

考察とまとめ

- ・利用時間が2時間を越えている児童が半数以上いる。
- ・家庭で決めたルールはある。しかし、守れていない児童は、半数以上となっている。家庭でルールの見直しや利用状況の確認が必要である。
- ・インターネットのルールやマナーなどについては、家族から学んでいる児童が多い。
- ・1、2年生と3～6年生で、利用状況が変化する。お家でルールを話し合って決めたり、決めたルールを徹底したりすることは、2年生までにしておくことが有効である。